（様式2） 実行計画管理シート

事業名	144	里山保全推進事業	部・課	土木部　公園みどり推進室

総合計画との関係	基本目標等		自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち
	施策目標等		23　豊かな自然環境を大切にするまち
	（関連施策目標等）		
	（関連施策目標等）		
	4つの重点的に進める施策との関係		
総合戦略との関係	基本目標		
	施策目標		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明		
	2016(H28)年度市政運営方針	○	第二京阪以東の里山の保全・活用については、里山保全基本計画の改定に取り組むとともに、里山を市民全体の貴重な地域資源として保全・継承する。
	2017(H29)年度市政運営方針		
	2018(H30)年度市政運営方針		

事業概要（目的・内容等）	第二京阪道路以東の東部地域の里山を、市民全体の貴重な財産として保全継承していくため、里山保全基本計画に基づき、市民、地権者等、本市の里山保全に関する取り組みを進める。また、里山保全基本計画を現状に即した計画に改定する。

取り組み状況

これまでの取り組み状況		・津田地区・穂谷地区の森づくり委員会の開催 ・里山保全活動団体との意見交換会の開催 ・大阪府森林整備関係事業（津田地区の土砂流出防備保安林の指定、災害被災箇所における治山事業の事務等）の地元調整等 ・枚方の里山・収穫の秋穂谷、ふれあい土木展、エコフォーラム等の自然環境関連イベントにおける里山保全活動状況の情報発信、普及啓発
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・里山保全基本計画の改定 ・津田地区・穂谷地区の森づくり委員会の開催 ・里山ボランティア活動団体との意見交換会の開催 ・大阪府森林整備関係事業の調整 ・関連イベント等による普及啓発、情報発信
	実績（評価）	・第2次里山保全基本計画を策定した。 ・津田地区、穂谷地区の森づくり委員会をそれぞれ2回（合計4回）開催した。 ・里山ボランティア活動団体との意見交換を1回開催した。 ・大阪府森林整備関係事業の調整を行った。 ・関連イベント等による里山保全情報を発信、啓発に努めた。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	

2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
備考		

課題	東部地域に訪問する市民等の里山保全意識（マナー）の低調に加え、里山保全に関して、地権者の想いと温度差がある。また、里山の利活用のさらなる推進が必要である。		
今後の対応	里山の魅力を市民に知ってもらうため、また、里山保全意識の向上のため、散策マップの配付や関連イベント等でのパネル展示など、啓発に努めていく。 平成29年3月に策定した第2次里山保全基本計画に基づき、各種事業を推進していく。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
里山保全活動団体の活動日数	○		1966	2243	2251				3296	日
指標の説明										
東部地域で活動する里山ボランティア活動団体の年間活動日数			里山ボランティア活動団体の活動日数は順調に推移している。							

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
東部地域の緑被率	○		77.9	77.9	77.9				77.9	%
指標の説明										
第二京阪道路以東の地域における緑で被われた土地の面積の割合			東部地域の緑被率は次回平成31年度に調査。							

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	33						33
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(H31)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）